

第 3 回正副 G 長会議録

日 時：令和 8 年 7 月 15 日（水）13:40～15:30

出席者：堀内委員長、田村副委員長、森田、戸島、平田、松山

事務局：前川室長、上原主任、村上

記録：村上

1 開会

堀内委員長より挨拶。

2 議事

(1) 自治と協働の職員研修

資料 1 実施職員研修一覧

【方針の決定】

- 令和 8 年度は庁内事例発表及びワークショップ形式で実施する。
- 冒頭に事務局から研修の実施目的とあゆみについて説明。
- 事例発表内容案
 - ・ いきいき健康課 岸部副主幹：第 2 層協議体事業
 - ・ 農林振興課：信太地区振興協議会
 - ・ はぐくむ委員会：小学校での自治と協働のまちづくり出張授業
- 実施日：令和 8 年 9 月 29 日（火） 午前・午後の二部制で実施

【確認事項】

- 研修の目的、内容、方法、対象職員など実施要綱を事務局で考え、正副 G 長 LINE で共有する。
- 令和 6 年度の実例発表では、成功例として話してもらったが、今回は協働で進めていく上での行政の苦労、市民の苦労を共有するなど、成功事例にこだわらない内容でかまわない。
- 講師を招く研修は次年度以降検討。「協力のテクノロジー」著者の松原氏や、奈良県三宅町長などを招いてはどうか。

(2) すこやか橋本まなびの日

- 今年度は体調不良や委員の辞任などによる人員不足と 10 周年記念誌や提言書など業務過多が生じているため、縮小して実施または参加辞退も視野に入れる。
- 8 月のはぐくむ委員会で参加について最終決定する。
- 参加の場合、上江委員、松山委員、戸島委員が手伝い可能。

(3) 提言書

資料 2 提言書構成案、資料 3 提言書スケジュール

【決定事項】

- 構成は第 3 期提言書の構成を基に作成する。
- 提言にあたっての巻頭言は堀内委員長が担当する。

【確認事項】

- 第 3 期提言書グループ活動にはしもとプラチカの報告を含めていたが、第 4 期は含めない。グループ活動項目ではなく、概要など別の項目で書くことを検討する。
- 提言書スケジュールは委員会で共有する。

(4) 10 周年記念誌

資料 4 記念誌構成素案、資料 5 記念誌スケジュール

【決定事項】

- 令和 9 年 1 月で策定委員会の条例が出来てから 10 年。何から 10 周年なのか（橋本市で協働が走り出してから、など）を堀内委員長の挨拶文等で明記する。市長に挨拶文を依頼する際も、10 周年の意図を伝えること。
- 市とはぐくむ委員会の連名で発行する。

【確認事項】

- 全体として文字量は少ないほうがいい。写真やイラスト多く挿入する。
- たたき題などはラインで共有する。
- 正副メンバーを編集委員会にする。松山さんを編集委員長か編集委員会事務局長など、位置づけを明確にすること。事務局案考えておく。
- 元ははぐくむメンバーへの声かけは戸島さん、森田さん、田村さんに協力してもらう。誰に依頼するかも追って相談する。（東さんはいれる）依頼する人が決まったら、市から文書として依頼すること。
- 顔写真をいれたいため、写真掲載許可もあわせて確認が必要。
- 柴田さんにイラスト依頼する場合、謝礼渡せるよう予算確認する。

3 その他

(1) 次回第 4 回正副 G 長会議

9 月上旬で調整する。委員会の日程含め、どちらもラインで日程調整する

4 閉会